

医歯薬学総合研究科（博士課程） 医学学位PG カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医歯薬学総合研究科博士課程	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	実践的な問題を解決できる力 グローバル化に対応した国際感覚を有し、自己の専門分野をもって社会をリードする行動を取り、日々発生する様々な課題に対し、持続可能な社会の実現に向けた新たな枠組みを構築することができる。	自律的に探究を推進する力 自己実現に向けて、生涯に亘り医学・歯学・薬学の発展に寄与する高い学習意欲を持ち、基礎から社会実証研究に至る諸相で、長期的・短期的課題を設定して研鑽を積むことができる。	成果創出に活かせるコミュニケーション力 幅広い学術研究領域の情報自ら収集・分析し、適切に発信できることに加え、チーム・ユニットの意見をまとめ、適切な方向性を提示することができる。	知の創成につながる幅広い専門力 医学・歯学・薬学に関する幅広い高度な専門知識と技能、態度及び分野の垣根にとらわれず、課題に対してアプローチする能力を身につけて社会に貢献できる。	人間性に富み国際的に通用する教養 広い学識を習得し、学術的問題を見出すとともに、その問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、人間性や倫理観に裏打ちされた研究者としての豊かで国際的な教養を身につけている。

科目区分			年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
							実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コースワーク	専攻共通科目	高度リベラルアーツ科目	1・2	研究方法論基礎	必修	4	○	○		○	◎
			1・2	研究方法論応用	必修	4	○	○		○	◎
		専門基礎科目	1・2	医療倫理と法律的・社会的問題	選択必修	0.5		○		◎	○
			1・2	医療対話学（コミュニケーションスキル）	選択必修	0.5		○	○	◎	○
			1・2	医療データサイエンス	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	疫学	選択必修	2		○		◎	○
	専門科目		1・2	統計パッケージ演習	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	脳卒中特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	心筋梗塞特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	メタボリックシンドローム・肥満症特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	アンチエイジング特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	臨床老年医学特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	口腔ケア・摂食嚥下機能評価・栄養学特論	選択必修	2		○		◎	○
			全	グローバル医学教育実習	選択必修	1	◎		○	○	○
リサーチワーク			全	医学実習	必修	8	◎	◎	◎	◎	
			全	医学演習	必修	4	◎	◎	◎	◎	
			全	医歯薬学プレゼンテーション・プラクティス	選択必修	2	◎		○	○	○
			2・3	課題研究	必修	4	◎	◎	◎		
			全	グローバル・プレゼンテーション1	選択必修	1	◎		○	○	○
			全	グローバル・プレゼンテーション2	選択必修	1	◎		○	○	○

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

医歯薬学総合研究科（博士課程） 包括がん研究者養成PG カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医歯薬学 総合研究 科博士課 程	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	実践的な問題を解決できる力 グローバル化に対応した国際感覚を有し、自己の専門分野をもって社会をリードする行動を取り、日々発生する様々な課題に対し、持続可能な社会の実現に向けた新たな枠組みを構築することができる。	自律的に探究を推進する力 自己実現に向けて、生涯に亘り医学・歯学・薬学の発展に寄与する高い学習意欲を持ち、基礎から社会実証研究に至る諸相で、長期的・短期的課題を設定して研鑽を積むことができる。	成果創出に活かせるコミュニケーション力 幅広い学術研究領域の情報自ら収集・分析し、適切に発信できることに加え、チーム・ユニットの意見をまとめ、適切な方向性を提示することができる。	知の創成につながる幅広い専門力 医学・歯学・薬学に関する幅広い高度な専門知識と技能、態度及び分野の垣根にとらわれず、課題に対してアプローチする能力を身につけて社会に貢献できる。	人間性に富み国際的に通用する教養 広い学識を習得し、学術的問題を見出すとともに、その問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、人間性や倫理観に裏打ちされた研究者としての豊かで国際的な教養を身につけている。

科目区分			年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
							実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コースワーク	専攻共通科目	高度リベラルアーツ科目	1・2	研究方法論基礎	必修	4	○	○		○	◎
			1・2	研究方法論応用	必修	4	○	○		○	◎
	専門基礎科目		1・2	医療倫理と法律的・社会的問題	選択必修	0.5		○		◎	○
			1・2	医療対話学（コミュニケーションスキル）	選択必修	0.5		○	○	◎	○
			1・2	医療データサイエンス	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	がん微小環境学 基礎	必修	2		○		◎	○
			1・2	悪性腫瘍の管理と治療	選択必修	1		○		◎	○
			1・2	医療情報学	選択必修	0.5		○		◎	○
			2・3	がん微小環境治療学	必修	2		○		◎	○
	専門科目		全	がんのベーシックサイエンス・臨床薬理学	選択必修	1		○		◎	○
			全	がんの病理診断・放射線診断学	選択必修	0.5		○		◎	○
			全	臓器別がん治療各論	選択必修	2		○		◎	○
			全	がん緩和治療	選択必修	0.5		○		◎	○
			全	医学実習	必修	8	◎	◎	◎	◎	
リサーチワーク			全	医学演習	必修	4	◎	◎	◎	◎	
			2・3	課題研究	必修	4	◎	◎	◎		
			全	グローバル・プレゼンテーション1	選択必修	1	◎		○	○	○
			全	グローバル・プレゼンテーション2	選択必修	1	◎		○	○	○
			全								

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

医歯薬学総合研究科（博士課程） 包括がん研究医養成PG カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医歯薬学 総合研究 科博士課 程	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	実践的な問題を解決できる力 グローバル化に対応した国際感覚を有し、自己の専門分野をもって社会をリードする行動を取り、日々発生する様々な課題に対し、持続可能な社会の実現に向けた新たな枠組みを構築することができる。	自律的に探究を推進する力 自己実現に向けて、生涯に亘り医学・歯学・薬学の発展に寄与する高い学習意欲を持ち、基礎から社会実証研究に至る諸相で、長期的・短期的課題を設定して研鑽を積むことができる。	成果創出に活かせるコミュニケーション力 幅広い学術研究領域の情報自ら収集・分析し、適切に発信できることに加え、チーム・ユニットの意見をまとめ、適切な方向性を提示することができる。	知の創成につながる幅広い専門力 医学・歯学・薬学に関する幅広い高度な専門知識と技能、態度及び分野の垣根にとらわれず、課題に対してアプローチする能力を身につけて社会に貢献できる。	人間性に富み国際的に通用する教養 広い学識を習得し、学術的問題を見出すとともに、その問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、人間性や倫理観に裏打ちされた研究者としての豊かで国際的な教養を身につけている。

科目区分			年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
							実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コースワーク	高度リベラルアーツ科目	1・2	研究方法論基礎	必修	1	○	○			○	◎
		1・2	研究方法論応用	必修	2	○	○			○	◎
	専攻共通科目	1・2	医療倫理と法律的・社会的問題	必修	0.5			○		◎	○
		1・2	医療対話学（コミュニケーションスキル）	必修	0.5			○	○	◎	○
		1・2	医療データサイエンス	選択	2			○		◎	○
		1・2	がん微小環境学 基礎	選択	2			○		◎	○
		1・2	悪性腫瘍の管理と治療	必修	1			○		◎	○
		1・2	がんチーム医療実習	必修	0.5			○	○	◎	○
		1・2	医療情報学	必修	0.5			○		◎	○
	専門科目	2・3	がん微小環境治療学	選択	2			○		◎	○
		全	がんのベーシックサイエンス・臨床薬理学	必修	1			○		◎	○
		全	がんの病理診断・放射線診断学	必修	0.5			○		◎	○
		全	臓器別がん治療各論	必修	2			○		◎	○
		全	がん緩和治療	必修	0.5			○		◎	○
リサーチワーク		1・2	臨床腫瘍学実習Ⅰ	必修	8	◎	◎	◎	◎		
		3・4	臨床腫瘍学実習Ⅱ	必修	8	◎	◎	◎	◎		
		2・3	課題研究	必修	4	◎	◎	◎			
		全	グローバル・プレゼンテーションⅠ	選択	1	◎			○	○	○
		全	グローバル・プレゼンテーションⅡ	選択	1	◎			○	○	○

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

医歯薬学総合研究科（博士課程） グローカル医療人養成PG カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医歯薬学総合研究科博士課程	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	実践的な問題を解決できる力 グローバル化に対応した国際感覚を有し、自己の専門分野をもって社会をリードする行動を取り、日々発生する様々な課題に対し、持続可能な社会の実現に向けた新たな枠組みを構築することができる。	自律的に探究を推進する力 自己実現に向けて、生涯に亘り医学・歯学・薬学の発展に寄与する高い学習意欲を持ち、基礎から社会実証研究に至る諸相で、長期的・短期的課題を設定して研鑽を積むことができる。	成果創出に活かせるコミュニケーション力 幅広い学術研究領域の情報自ら収集・分析し、適切に発信できることに加え、チーム・ユニットの意見をまとめ、適切な方向性を提示することができる。	知の創成につながる幅広い専門力 医学・歯学・薬学に関する幅広い高度な専門知識と技能、態度及び分野の垣根にとらわれず、課題に対してアプローチする能力を身につけて社会に貢献できる。	人間性に富み国際的に通用する教養 広い学識を習得し、学術的問題を見出すとともに、その問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、人間性や倫理観に裏打ちされた研究者としての豊かで国際的な教養を身につけている。

科目区分			年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
							実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コースワーク	専攻共通科目	高度リベラルアーツ科目	1・2	研究方法論基礎	必修	2	○	○		○	◎
			1・2	研究方法論応用	必修	2	○	○		○	◎
		専門基礎科目	1・2	医療倫理と法律的・社会的問題	選択必修	0.5		○		◎	○
			1・2	医療対話学（コミュニケーションスキル）	選択必修	0.5		○	○	◎	○
			1・2	医療データサイエンス	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	疫学	選択必修	2		○		◎	○
	専門科目		2・3	アカデミックGP養成統合科目	必修	2	◎	○		◎	○
			2・3	Glocal感染症特論	選択必修	2		○		◎	○
			全	Glocal質的研究方法論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	脳卒中特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	心筋梗塞特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	メタボリックシンドローム・肥満症特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	アンチエイジング特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	臨床老年医学特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	口腔ケア・摂食嚥下機能評価・栄養学特論	選択必修	2		○		◎	○
			全	グローバル医学教育実習	選択必修	1	◎		○	○	○
	リサーチワーク		全	医学実習	必修	8	◎	◎	◎	◎	
			全	医学演習	必修	4	◎	◎	◎	◎	
			全	医歯薬学プレゼンテーション・プラクティス	選択必修	2	◎		○	○	○
			2・3	課題研究	必修	4	◎	◎	◎		
			全	グローバル・プレゼンテーション1	選択必修	1	◎		○	○	○
			全	グローバル・プレゼンテーション2	選択必修	1	◎		○	○	○

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

医歯薬学総合研究科（博士課程）（MDS）養成PG ビッグデータ解析コース カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医歯薬学 総合研究 科博士課 程	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	実践的な問題を解決できる力 グローバル化に対応した国際感覚を有し、自己の専門分野をもって社会をリードする行動を取り、日々発生する様々な課題に対し、持続可能な社会の実現に向けた新たな枠組みを構築することができる。	自律的に探究を推進する力 自己実現に向けて、生涯に亘り医学・歯学・薬学の発展に寄与する高い学習意欲を持ち、基礎から社会実証研究に至る諸相で、長期的・短期的課題を設定して研鑽を積むことができる。	成果創出に活かせるコミュニケーション力 幅広い学術研究領域の情報自ら収集・分析し、適切に発信できることに加え、チーム・ユニットの意見をまとめ、適切な方向性を提示することができる。	知の創成につながる幅広い専門力 医学・歯学・薬学に関する幅広い高度な専門知識と技能、態度及び分野の垣根にとらわれず、課題に対してアプローチする能力を身につけて社会に貢献できる。	人間性に富み国際的に通用する教養 広い学識を習得し、学術的問題を見出すとともに、その問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、人間性や倫理観に裏打ちされた研究者としての豊かで国際的な教養を身につけている。

科目区分			年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
							実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コース ワーク	専攻共通科目	高度リベラルアーツ科目	1・2	研究方法論基礎	必修	2	○	○		○	◎
			1・2	研究方法論応用	必修	2	○	○		○	◎
		専門基礎科目	1・2	医療倫理と法律的・社会的問題	選択必修	0.5		○		◎	○
			1・2	医療対話学（コミュニケーションスキル）	選択必修	0.5		○	○	◎	○
			1・2	医療データサイエンス	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	疫学	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	医療情報学	選択必修	0.5		○		◎	○
	専門科目		1・2	臨床研究・予防医学実践論	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	統計学理論	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	統計パッケージ演習	選択必修	2	○	○		◎	○
			2・3	社会疫学	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	メディカルデータサイエンスイノベーター養成科目	必修	2	○	○		◎	○
			全	医学AI概論	選択必修	2	○	○		◎	○
			全	医学AIセミナー	選択必修	2	○	○		◎	○
			全	グローバル医学教育実習	選択必修	1	◎		○	○	○
リサーチワーク			全	医学実習	必修	8	◎	◎	◎	◎	
			全	医学演習	必修	4	◎	◎	◎	◎	
			2・3	課題研究	必修	4	◎	◎	◎		
			全	グローバル・プレゼンテーション1	選択必修	1	◎		○	○	○
			全	グローバル・プレゼンテーション2	選択必修	1	◎		○	○	○

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

医歯薬学総合研究科（博士課程）（MDS）養成PG 医療AI応用コース カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医歯薬学 総合研究 科博士課 程	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	実践的な問題を解決できる力 グローバル化に対応した国際感覚を有し、自己の専門分野をもって社会をリードする行動を取り、日々発生する様々な課題に対し、持続可能な社会の実現に向けた新たな枠組みを構築することができる。	自律的に探究を推進する力 自己実現に向けて、生涯に亘り医学・歯学・薬学の発展に寄与する高い学習意欲を持ち、基礎から社会実証研究に至る諸相で、長期的・短期的課題を設定して研鑽を積むことができる。	成果創出に活かせるコミュニケーション力 幅広い学術研究領域の情報自ら収集・分析し、適切に発信できることに加え、チーム・ユニットの意見をまとめ、適切な方向性を提示することができる。	知の創成につながる幅広い専門力 医学・歯学・薬学に関する幅広い高度な専門知識と技能、態度及び分野の垣根にとらわれず、課題に対してアプローチする能力を身につけて社会に貢献できる。	人間性に富み国際的に通用する教養 広い学識を習得し、学術的問題を見出すとともに、その問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、人間性や倫理観に裏打ちされた研究者としての豊かで国際的な教養を身につけている。

科目区分			年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
							実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コースワーク	専攻共通科目	高度リベラルアーツ科目	1・2	研究方法論基礎	必修	2	○	○		○	◎
			1・2	研究方法論応用	必修	2	○	○		○	◎
	専門基礎科目		1・2	医療倫理と法律的・社会的問題	選択必修	0.5		○		◎	○
			1・2	医療対話学（コミュニケーションスキル）	選択必修	0.5		○	○	◎	○
			1・2	医療データサイエンス	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	疫学	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	医療情報学	選択必修	0.5		○		◎	○
			1・2	臨床研究・予防医学実践論	選択必修	2		○		◎	○
	専門科目		1・2	統計学理論	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	統計パッケージ演習	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	メディカルデータサイエンスインベーター養成科目	選択必修	2	○	○		◎	○
			全	医学AI概論	必修	2	○	○		◎	○
			全	医学AI応用特論Ⅰ	選択必修	2		○		◎	○
			全	医学AI応用特論Ⅱ	選択必修	2		○		◎	○
			全	医学AIセミナー	選択必修	2	○	○		◎	○
			全	グローバル医学教育実習	選択必修	1	◎		○	○	○
	リサーチワーク		全	医学実習	必修	8	◎	◎	◎	◎	
			全	医学演習	必修	4	◎	◎	◎	◎	
			2・3	課題研究	必修	4	◎	◎	◎		
			全	グローバル・プレゼンテーションⅠ	選択必修	1	◎		○	○	○
			全	グローバル・プレゼンテーションⅡ	選択必修	1	◎		○	○	○

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

医歯薬学総合研究科（博士課程） 歯学学位PG カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医歯薬学総合研究科博士課程	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	実践的な問題を解決できる力 グローバル化に対応した国際感覚を有し、自己の専門分野をもって社会をリードする行動を取り、日々発生する様々な課題に対し、持続可能な社会の実現に向けた新たな枠組みを構築することができる。	自律的に探究を推進する力 自己実現に向けて、生涯に亘り医学・歯学・薬学の発展に寄与する高い学習意欲を持ち、基礎から社会実証研究に至る諸相で、長期的・短期的課題を設定して研鑽を積むことができる。	成果創出に活かせるコミュニケーション力 幅広い学術研究領域の情報自ら収集・分析し、適切に発信できることに加え、チーム・ユニットの意見をまとめ、適切な方向性を提示することができる。	知の創成につながる幅広い専門力 医学・歯学・薬学に関する幅広い高度な専門知識と技能、態度及び分野の垣根にとらわれず、課題に対してアプローチする能力を身につけて社会に貢献できる。	人間性に富み国際的に通用する教養 広い学識を習得し、学術的問題を見出すとともに、その問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、人間性や倫理観に裏打ちされた研究者としての豊かで国際的な教養を身につけている。

科目区分			年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
							実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コースワーク	専攻共通科目	高度リベラルアーツ科目	1・2	研究方法論基礎	必修	2	○	○		○	◎
			1・2	研究方法論応用	必修	2	○	○		○	◎
		専門基礎科目	1・2	医療倫理と法律的・社会的問題	選択必修	0.5		○		◎	○
			1・2	医療対話学（コミュニケーションスキル）	選択必修	0.5		○	○	◎	○
			1・2	医療データサイエンス	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	疫学	選択必修	2		○		◎	○
	専門科目		全	歯科臨床専門医プラクティカムA	必修	2		○		◎	○
			全	歯科臨床専門医プラクティカムB	必修	2		○		◎	○
			1～3	最新歯科医学各論	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	臨床研究デザインワークショップ（演習）	必修	2		○		◎	○
			2・3	イノベティブ・デンティストリー特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	口腔ケア・摂食嚥下機能評価・栄養学特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	脳卒中特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	心筋梗塞特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	メタボリックシンドローム・肥満症特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	アンチエイジング特論	選択必修	2		○		◎	○
			2・3	臨床老年医学特論	選択必修	2		○		◎	○
			全	グローバル歯学教育実習	選択	1	◎		○	○	○
リサーチワーク			全	歯学実習	必修	8	◎	◎	◎	◎	
			全	歯学演習	必修	4	◎	◎	◎	◎	
			全	医歯薬学プレゼンテーション・プラクティス	選択必修	2	◎		○	○	○
			2・3	課題研究	必修	4	◎	◎	◎		
			全	グローバル・プレゼンテーション1	選択必修	1	◎		○	○	○
			全	グローバル・プレゼンテーション2	選択必修	1	◎		○	○	○

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

医歯薬学総合研究科（博士課程） ボーダレス歯学研究者養成PG カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医歯薬学総合研究科博士課程	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	実践的な問題を解決できる力 グローバル化に対応した国際感覚を有し、自己の専門分野をもって社会をリードする行動を取り、日々発生する様々な課題に対し、持続可能な社会の実現に向けた新たな枠組みを構築することができる。	自律的に探究を推進する力 自己実現に向けて、生涯に亘り医学・歯学・薬学の発展に寄与する高い学習意欲を持ち、基礎から社会実証研究に至る諸相で、長期的・短期的課題を設定して研鑽を積むことができる。	成果創出に活かせるコミュニケーション力 幅広い学術研究領域の情報自ら収集・分析し、適切に発信できることに加え、チーム・ユニットの意見をまとめ、適切な方向性を提示することができる。	知の創成につながる幅広い専門力 医学・歯学・薬学に関する幅広い高度な専門知識と技能、態度及び分野の垣根にとらわれず、課題に対してアプローチする能力を身につけて社会に貢献できる。	人間性に富み国際的に通用する教養 広い学識を習得し、学術的問題を見出すとともに、その問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、人間性や倫理観に裏打ちされた研究者としての豊かで国際的な教養を身につけている。

科目区分			年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
							実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コースワーク	専攻共通科目	高度リベラルアーツ科目	1・2	研究方法論基礎	必修	4	○	○		○	◎
			1・2	研究方法論応用	必修	4	○	○		○	◎
		専門基礎科目	1・2	医療倫理と法律的・社会的問題	選択必修	0.5		○		◎	○
			1・2	医療対話学（コミュニケーションスキル）	選択必修	0.5		○	○	◎	○
			1・2	医療データサイエンス	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	疫学	選択必修	2		○		◎	○
	専門科目		1～3	最新歯科医学各論	必修	2		○		◎	○
			2・3	イノベティブ・デンティストリー特論	選択必修	2		○		◎	○
			1・2	臨床研究デザインワークショップ（演習）	選択	2		○		◎	○
			2・3	口腔ケア・摂食嚥下機能評価・栄養学特論	選択	2		○		◎	○
			2・3	脳卒中特論	選択	2		○		◎	○
			2・3	心筋梗塞特論	選択	2		○		◎	○
			2・3	メタボリックシンドローム・肥満症特論	選択	2		○		◎	○
			2・3	アンチエイジング特論	選択	2		○		◎	○
			2・3	臨床老年医学特論	選択	2		○		◎	○
			全	グローバル歯学教育実習	選択必修	1	◎		○	○	○
	リサーチワーク		全	歯学実習	必修	8	◎	◎	◎	◎	
			全	歯学演習	必修	4	◎	◎	◎	◎	
			全	医歯薬学プレゼンテーション・プラクティス	選択必修	2	◎		○	○	○
			2・3	課題研究	必修	4	◎	◎	◎		
			全	グローバル・プレゼンテーション1	選択必修	1	◎		○	○	○
			全	グローバル・プレゼンテーション2	選択必修	1	◎		○	○	○

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

医歯薬学総合研究科（博士課程）薬学学位プログラム カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
医歯薬学総合研究科博士課程	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	実践的な問題を解決できる力 薬学のグローバル化に対応した国際感覚と学術的コミュニケーション能力に基づいて社会をリードし、持続可能な社会の実現に取り組む実践力	自律的に探究を推進する力 薬学・薬物治療学の発展に寄与するため、生涯に亘って自己の成長を追求し、高い学修意欲を持ち続け研鑽を積む力	成果創出に活かせるコミュニケーション力 薬学に関連する幅広い領域の情報を自ら適切に収集・分析し、適切に活用・情報発信する力	知の創成につながる幅広い専門力 薬物治療学及び関連分野に関する幅広い専門知識と技能	人間性に富み国際的に通用する教養 課題抽出・解決能力や人間性、倫理観の基盤となる豊かで国際的な教養

科目区分			年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
							実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コースワーク	専攻共通科目	高度リベラルアーツ科目	1・2	研究方法論基礎	必修	3	○	○		○	◎
			1・2	研究方法論応用	必修	3	○	○		○	◎
		専門基礎科目	1・2	医療倫理と法律的・社会的問題	選択必修	0.5		○		◎	○
			1・2	医療対話学（コミュニケーションスキル）	選択必修	0.5		○	○	◎	○
			1・2	医療データサイエンス	選択必修	2		○		◎	○
			1～3	最先端薬学研究概論	必修	2		○		◎	○
	専門科目		1～3	毒性学特論	選択必修	2		○		◎	○
		1～3	疾患薬理制御科学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	健康情報科学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	薬効解析学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	臨床薬物動態学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	炎症薬物学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	国際感染症制御学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	臨床病態診断学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	衛生微生物化学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	構造生物薬学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	精密有機合成化学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	臨床薬理学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	創薬有機化学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	天然物化学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	合成医薬品開発学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	生体機能分析学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	生体膜分子生物学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	膜輸送分子生物学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	薬物動態制御学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	分子生物学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		1～3	生体物理化学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		2・3	脳卒中特論	選択必修	2		○		◎	○	
		2・3	心筋梗塞特論	選択必修	2		○		◎	○	
		2・3	メタボリックシンドローム・肥満症特論	選択必修	2		○		◎	○	
		2・3	アンチエイジング特論	選択必修	2		○		◎	○	
		2・3	臨床老年医学特論	選択必修	2		○		◎	○	
		2・3	口腔ケア・摂食嚥下機能評価・栄養学特論	選択必修	2		○		◎	○	
	1～3	最先端薬学研究実習	必修	2	◎		○	○	○		
リサーチワーク			全	薬学実習	必修	8	◎	◎	◎	◎	
			全	薬学演習	必修	4	◎	◎	◎	◎	
			2・3	課題研究	必修	4	◎	◎	◎		
			全	グローバル・プレゼンテーションⅠ	選択必修	1	◎		○	○	○
			全	グローバル・プレゼンテーションⅡ	選択必修	1	◎		○	○	○

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する